

土木工事や大型作業船に興味のある東海大学の学生さん！

～ 1 day インターンシップ[®]のご案内～



「日本の国土建設の一翼を担う」

海洋土木大手「東亜建設工業」のグループ会社として、各種作業船による海洋土木事業を中心とした建設事業を展開しています。

◆当社の事業内容

- ・ 海洋土木大手、東亜建設工業グループの中で「海洋土木工事」の専門家
- ・ 羽田空港再拡張事業等の大型プロジェクトに参画、東日本震災復旧工事でも港湾分野で尽力
- ・ 世界をリードする施工技術で、海洋国日本の発展に貢献

◆紹介職種

- ・ 施工管理職：主に港湾土木工事での現場施工管理を行います（土木、建築、環境、地質工学系統）。
- ・ 作業船技術職：大型作業船での工事施工や船舶技術開発を行います（水産、航海、機械、電気工学系統）。

★開催日時〈web 会社説明会〉その他の日程での開催はご要望により調整します。

まずはマイナビ～お気軽にエントリーしてください～

本社所在：千代田区神田司町 2 - 2 - 7 パーサイト I 8F、


電話：03-5256-5610


採用窓口：総務部採用担当（望月／e-mail：saiyou@shinko-con.co.jp）



作業船技術職のしごと・経験談

●先輩社員にインタビュー

 **小井 俊宏**
 岡山理科大学 工学部機械システム工学科 卒
 平成23年入社
 作業船技術職 (機械職)

 **板垣 尚登**
 海技大学校 海上技術科(機関専修) 卒
 平成22年入社
 作業船技術職

●これが私の仕事

防波堤や地盤改良など規模の大きい工事をおこなっています

私の職場は、防波堤や地盤改良で使用する作業船です。作業船では、機関(機械整備を行う)と甲板(機械操作を行う)に分かれて仕事をしますが、私は甲板に所属しています。作業船では、10名程度のメンバーと船の上で寝食をともにしています。



作業船工事では、セメントミルクを使用して海底地盤を改良したり、古い防波堤の改修などを担当しました。作業船の現場は3~6ヶ月に渡りますが、現場に出ない期間は、次の稼動に備えて作業船の整備を行います。砂やセメントを扱うので機器が磨耗し、修理が必要となるのです。

作業船工事の醍醐味は、チームワークと規模の大きさです。完成したとき達成感にやりがいを感じています。

●だからこの仕事が好き！一番うれしかったことにまつわるエピソード

初めて作業船に乗ったときのことが忘れられません

新入社員研修後、すぐに作業船に乗った時のことが忘れられません。それは工期2ヶ月の海底地盤改良工事に従事する作業船でした。知識がない私は、覚える事がたくさん！先輩について道具の名前、扱い方、場所など必死に覚えました。気になったことはまとめてみたり、メモを読み返したりと、勉強の毎日でした。

また、限られた空間の中での集団生活もはじめての経験。最初は不安でした。が、皆優しく色々指導してくれ安心しました。先輩方は皆、気持ちよく働けるように意識してコミュニケーションをとり、一体感があり、私も早く一緒に仕事がしたいと思いました。工事が無事完了した時は達成感とともにすがすがしい気持ちになりました。今も勉強することが多いですが、この時の気持ちを忘れないようにしています。

●スバリ！私がこの会社を選んだ理由 ここが好き

規模の大きい工事に自身が携わるイメージを持つ事ができたから

専攻が機械系で、それを活かす仕事につきたいと思っていました。そこを軸に企業を探し、当社に出会いました。なぜ「作業船」で機械系が必要なのかと疑問に思い、興味を持ちました。説明会に参加し、企業研究を重ねると、扱う工事のスケールの大きさに驚き、自分の知識でここまで大きな仕事に携われるという事にワクワクしました。また、実際に作業船を見学することができ、具体的に自分の働いているイメージを持つことができたのも入社理由の1つです。

作業船という特殊な仕事では、予想する力、臨機応変に対応する力、コミュニケーション力など多くのことが身に付きます。これからも安全第一に工事を遂行できるように知識の蓄積や技術を磨きたいです。

●これが私の仕事

大型作業船の機器の運転管理

海洋土木工事で欠かせない大型作業船、私はその作業船の機関部員として働いています。機関部の仕事は、作業船に搭載される機器の運転・点検・整備ですが、一言に点検・整備といっても発電機や大型ウインチ、大小様々なポンプなど様々な機器があり、各作業船によっても使用される機器が違います。機関部の仕事はそのような各種様々な機械に対応できるように、機械的な幅広い技術や知識が必要となる仕事です。

また海底土砂埋戻し工事では、作業船に搭載された大型バックホウのオペレーターも経験しました。陸上工事ではあまり使用されない、大型設備に携わることが出来るのも作業船で働く魅力のひとつです。

私の技術や知識は、まだ十分とはいえませんが、日々先輩方の指導を受け、仕事をしていくことにやりがいを感じています。

●だからこの仕事が好き！一番うれしかったことにまつわるエピソード

海上の土台作りに誇りを持っています！

私が従事してきた工事は、海底の地盤改良や浚渫、土砂埋戻し等海面下の工事です。成果を自分の目で確認することは難しく、そのため、入社して初めて携わった工事が終了した時は、達成感より無事に終わった安心感の方が強くありました。

しかし、今では自分達が地盤改良を行った場所に大きなクレーンが立ち並び、コンテナヤードとして稼動している景色を見た時、何もない海上に港を建設するという事に自分も携わっていたのだと強く感じ、大きな達成感が味わえます。



このような大きな工事は、完成までに長い時間を要します。私達の仕事は基礎作りであり、地味なものかもしれませんが、完成した時、あの地盤は私達が造ったのだと胸を張って誇れる仕事だと思います。

●スバリ！私がこの会社を選んだ理由 ここが好き

スケールの大きさ・自分の知らない世界に

海技学校では船舶機械を専攻していました。就職先はフェリー等の自航船が主でしたが、ある時、作業船という仕事があることを知り、大きなエンジンを積む船種もあるとのことで興味が湧き、入社を決めました。

作業船については無知であった為、不安も大きかったのですが、先輩方が一つ一つ丁寧に指導していただき、今でも楽しく仕事を続けられています。

この仕事は楽な仕事ではありません。力仕事や汚れる仕事、時には他人から見たら危険だと思われる仕事もあります。しかし仕事を工夫しながら、無事安全に終わらせた時に得られる達成感が、この会社でやりがいを感じ、働き続ける原動力となっています。

土木技術職のしごと・経験談

●先輩社員にインタビュー



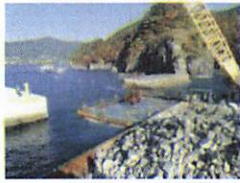
赤迫 史郎
日本大学 理工学部土木工学科 卒
平成24年入社
土木職

●これが私の仕事

「震災復興」「マリン」で盛りだくさん建設

大学3年を終え、就職活動に入った時、東日本大震災が起きました。それまで漠然と建設業界へ就職を考えていましたが、太平洋側沿岸地域の津波被害の惨状に衝撃を受け、特に建設会社の中でも海洋土木を得意とするマリコンに狙いを絞って就職活動し、信幸建設に出逢いました。

入社して早速、東北地方の震災復旧工事を担当しましたが、目の前の壊れた港湾施設を復旧工事に従事する中で地元の方々に感謝されることも多く、仕事のやりがいと信幸建設で働く意義を強く感じる事ができました。



現場では様々な業種の方々と仕事をする為、人とのコミュニケーションが重要であると強く認識しています。安全に、求められた品質以上のものを、工期内に納めるよう綿密なコミュニケーションを図り日々の現場運営管理をしております。

●だからこの仕事が好き！ 一番うれしかったことにまつわるエピソード

日々の仕事が目に見えて形になっていきます。

入社5年目からは海外工事を担当しています。現地でのコミュニケーションは慣れない英語に加え、指差し、ぼんち絵、最終的にはボディランゲージ。

国内のように阿吽の呼吸で仕事してくれる協力業者はいません。自分が思い描く施工方法を、安全に、確実に、実施してもらえるよう綿密に計画を練り、相手に伝わるよう意思疎通を図ります。そうして、今まで地図上に無かった港湾施設を地球上に完成させた時、この仕事に携わっていた者には大きな喜びになります。



●スバリ！私がこの会社を選んだ理由 ここが好き

私は入社後すぐに東北に赴任し、東日本大震災の復旧工事を担当しました。そこで土木技術者として直接的に社会貢献が出来たと感じられた事は自らの職の在り方に大きな影響を受けました。今後も大きな災害への備えとして、作業船を有する海上工事業者「信幸建設」の役割は大きいと自負します。皆さんもこの会社で必ずやりがいを見つけることができると思います！！



安藤 海渡
東海大学 海洋学部海洋建設工学科 卒
平成23年入社
土木職

●これが私の仕事

「施工管理」安全、品質、工期... 仕事内容は様々

現在、私は千葉営業所管轄の工事を担当しています。主な仕事内容としては、工事を着手するまでの施工計画の検討や書類作成、工事が始まってからの現場での安全管理、品質管理、工程管理等の「管理」になります。

工事を1人で完成させることはできません。複数の会社そして多くの作業員が協力し合い、日々努力を積み重ね、工事を無事に完成させることを目指しています。その中で、現場で直接指揮する立場にある当社の仕事は重要です。私は様々な相手とコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことはもちろん海という大自然を相手にする為、常に条件が変化する現場に対し迅速に対応することを意識しています。そうして無事故無災害で工事を完成させることにとてもやりがいや達成感を感じ、自らのスキルアップに繋げることができると思います。



●だからこの仕事が好き！ 一番うれしかったことにまつわるエピソード

初めての所長、不安・重圧を乗り越えて、工事完了！

入社4年目、県の公共工事で護岸の補強工事を作業所長として任せられました。元請工事を作業所長(現場代理人)として担当するのは初めてで、当初は不安ばかりでしたが、上司や現場の職人に相談しながら無事に工期内に無事故で工事を終えることができました。

元請かつ作業所長としての重圧を日々感じ、乗り越えながら工事を終えて自分なりに成長を感じることができたのは、嬉しかったです。また、発注者から工事の評価として工事点数を頂き、自分の目に見えるものとして評価してもらえたことがとても嬉しく感じました。

●スバリ！私がこの会社を選んだ理由 ここが好き

全国規模で港湾工事に携わることができる会社！

大学で海洋工学を専攻していたこともあり、自分が興味を持ち学んだことを活かすことのできる仕事に就きたいと考えていました。そんな中、全国規模で作業所を構えている当社に魅力を感じ、限られた地域の中だけでなく自分の知らない土地で、自分の力で仕事をしてみたいと強く感じたのが、当社を就職先として選んだ大きな理由です。

信幸建設株式会社

事業内容 総合建設業（土木工事請負、作業船・建設特殊機材の運転・維持管理・開発製作、測量コンサルタント）
 設立 1993年10月1日
 資本金 5,000万円
 事業所 本社／東京都千代田区神田司町二丁目2番地7 パークビル18階、TEL: 03-5256-5610
 支社／東日本支社（横浜市）、西日本支社（山口県下関市）、大阪支社（堺市）
 営業所／東北（宮城県多賀城市）、千葉（千葉市）